



78年前の6月23日、太平洋戦争末期に、激しい地上戦が行われ、20万人以上が命を落とした「沖縄戦」で、日本軍の組織的な戦闘が終結しました。

現在、政府は、ロシアによるウクライナ侵攻や、近隣諸国への安全保障環境の変化を理由に「防衛力強化」に舵を切りました。最近では、南西諸国への軍事配備や、自衛隊の駐屯地開設など「防衛力強化」への動きが活発化しています。

世論も、安全保障に対する不安から「防衛力強化」への声が強くなっています。しかし、どこか「他人事」にないでしょうか。もし、戦争が始まれば、戦地へ行き、犠牲になるのは誰なのでしょう。

戦争を知らない世代が多くを占める中、過去の歴史を学び、受け継ぐことが課題です。

「戦争を絶対に起こさせない」不断の努力なくして、平和な社会の恒常はできません！

沖縄 慰霊の日